

熊本市と熊本高専が 人材育成で連携協定

熊本市と熊本高専は9日、教育研究や人材育成などに関する包括連携協定を結んだ。半導体をテーマにした特別授業や科学イベント、子どもの工作教室の開催などで協力する。

熊本高専は合志市と八代市にキャンパスがあり、熊本市内から進学する生徒も多い。熊本県内で半導体産

業の集積が進む中、工学系の人材育成を図ろうと、高専が市に協定締結を持ちかけた。

市役所で締結式があり、大西一史市長が「熊本の半導体教育は世界的に注目されている。連携は非常に大きな意味がある」と歓迎。高松洋校長は「社会全体で人を育てるという考えに立ち、いろいろなことをやっていきたい。今後も支援をお願いしたい」と述べた。

(臼杵大介)